

目次

第1章 自治体の危機管理－地方議会人の役割と行政責任	1
1. はじめに	2
2. 自助意識の不足と公助依存	3
2. 1. 自助と共助のねじれ	3
2. 2. 自助不足と地方議員への期待	5
3. 行政と行政職員の危機対応	5
3. 1. 混乱の中の法と秩序	5
3. 2. 自治体への信頼と社会政策	7
3. 3. 法治と公平原則の欠点	8
3. 4. 危機に強い行政職員の養成	9
3. 5. 自治体行政と危機管理－小括	10
4. 地方議員と危機管理	11
4. 1. 政治と災害対応	11
4. 2. 地方議会独自の取り組み	12
4. 3. 業務継続計画（BCP）と議会	14
4. 4. 地方議員の認知度と役割	16
5. おわりに	19
第2章 3.11 以後の地域防災計画	25
－地域防災計画の実用的な運用を求めて－	25
1. はじめに	26
2. 災害法制と地域防災計画	27
災害法制と防災事業	27
3. 3.11 以後の地域防災計画の修正状況	29
3. 1. 3.11 直後の地域防災計画の修正状況	29
3. 2. 2011 年度、2012 年度の地域防災計画の修正状況	31
4. 災害対策の標準化と個別化	34
4. 1. 災害対策の標準化	34
4. 2. 災害対策の個別化	37
5. これからの地域防災計画	39
5. 1. 災害法制から見る地域防災計画の課題	39
5. 2. 地域防災計画の改正状況から見る地域防災計画の課題	40
5. 3. 災害対策の標準化・個別化から見る地域防災計画の課題	40

5. 4. 地域防災計画の運用：RG-PDCA サイクルに基づいた見直しを	41
6. 終わりに	42
第3章 災害における人々の避難とその特性	47
1. はじめに	48
2. パニック	48
2. 1. 「パニック」への不安	48
2. 2. 「パニック」の定義	48
2. 3. 日本における「パニック」の広がり	51
2. 4. 「東海地震説」と「余震情報パニック」	52
2. 5. 「パニック・イメージ」と「パニック神話」	55
3. 災害情報と避難-望ましくない対応をする理由とその特性-	57
3. 1. 正常化の偏見	57
3. 2. 警報慣れ	57
3. 3. 災害文化（災害下位文化）の非適応的機能と「安全神話」	58
3. 4. 過去の災害経験の影響と「経験の逆機能」	59
3. 5. 「いざとなったら2階へ」－屋内避難意識－	60
3. 6. 理解困難・誤解	60
3. 7. 予想外の現象の発生	61
3. 8. 避難未達成状況での発災	61
3. 9. 災害時要援護者（災害弱者）への対応	62
3. 10. 情報の詳細化による混乱と情報の大量化	62
3. 11. 職務・仕事による避難の遅れ	63
4. おわりに	63
第4章 章防災政策における自治体間の「格差」と「連携」に関する考察	67
1. はじめに	68
2 災害対策基本法と防災体制	68
2. 1. 国の防災・危機管理体制	68
2. 2. 自治体の防災・危機管理体制	69
3 防災・危機管理上の課題	70
3. 1. 自治体のもつ「多様性」	70
3. 2. 巨大災害にいかに対応するか	73
3. 3. 複合災害にいかに対応するか	75
4 災害対応における二つの連携	76
4. 1. 対応のポイント	76

4. 2. 近隣自治体間の連携	77
4. 3. 遠隔地の自治体等との連携	78
5. むすびにかえて	79